

当院におけるセマグルチドとデュラグルチドによる血糖コントロールと副作用発現状況からみた比較検討

1. 研究の対象

2022年6月～2022年12月に当院でメトホルミンまたはメトグルコ併用下で、新規にオゼンピックまたはトルリシティが処方された方。

2. 研究目的・方法

・目的

メトホルミンまたはメトグルコ服用下で、オゼンピックはトルリシティよりも有意に優れた血糖コントロールを示し、安全性は同様だという研究結果が発表されました。当院でも同様の研究を行った場合、有意な差を認めるのか実状を把握するために調査を行います。

・方法

研究デザイン：後ろ向き観察研究

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、副作用等の発生状況、性別、年齢、HbA1c、併用薬剤 等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

京都中部総合医療センター 患者相談係

研究責任者：

京都中部総合医療センター 人見 志保里

-----以上